

会議要録

会議の名称	令和２年度 第２回和光市文化財保護委員会
日 時	令和３年３月２３日(火)13:30～14:30
場 所	和光市役所 ６階 603 会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】 10 名の委員中、9 名が出席(欠席者：矢崎 康彦) 田中 明、小田部 玲子、森 朋久、鈴木 敏弘、内田 はま子、 大平 秀和、並木 實、保科 裕、岩田 昌之 【事務局】 [教育委員会] 大久保教育長、結城教育部長 [生涯学習課] 茂呂課長、鈴木課長補佐 文化財保護担当：上原主査、糸野主任、相田主事
傍 聴 者	0 名

1 開会

2 教育長あいさつ

それでは、ご挨拶申し上げます。本日は、ご多用のところ和光市文化財保護委員会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。今年の桜は例年になく早さで開花しています。昨日の時点で東京都は満開であります。この春の勢いを感じながらもこれで「いいのかな」と想っている次第です。学校については小中学校の卒業証書授与式です。いよいよ年度末を迎えています。

この１年は新型コロナウイルスにより掻きまわされた１年となりました。特に埼玉県を含む首都圏においては年度当初の４月、５月の２カ月、１月～３月２１日の２カ月半ほど、あわせて４カ月半ほど自粛生活を送っていました。様々な活動が制限されておりますが、令和３年度がもっと活動しやすい年であればと思っています。

以上、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。それでは、これからの各議題の審議をよろしくお願いいたします。

3 事務局職員から説明・報告など

- 1 和光市市民参加条例第１２条第４項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
- 2 令和２年４月１日付けで異動のあった職員の紹介。
- 3 配布資料について説明。
- 4 矢崎委員から欠席のご連絡をいただいている旨を報告。
- 5 和光市文化財保護委員会規則第５条に基づき、議事進行は田中委員長が行うことの説明。

4 協議・報告

(1) 午王山遺跡の経過報告について

○田中委員長

それでは、議題①午王山遺跡の経過報告について事務局から報告をお願いします。

○事務局

議題①の資料を基にご説明いたします。

まず、「指定の流れ」についてです。昨年、令和2年3月10日に13,425㎡の土地が、国指定の史跡に指定されました。最終的な午王山遺跡の予定範囲は約26,000㎡となりますが、そのうち、地権者の方に同意をいただいた13,425㎡が国史跡指定を受けたという形になります。

次に、令和2年7月22日には午王山遺跡の管理団体として正式に「和光市」が指定されました。現在午王山遺跡は30名を超える地権者で分有しており、史跡の保存や管理については一元的に行うことが望ましいことから、和光市が管理団体となり、史跡の保護に努めていくこととなります。

続いて、国史跡追加指定約2,340㎡についてです。国史跡は官報の告示がなされた日から効力が発生する、と定められております。例年、官報告示は2～3月にされるのですが、本日までに告示がなされておりません。そのため、資料には日にちを記載しておりませんが、年度内には告示される見込みで、告示されれば新たに2,340㎡が追加指定され、当初指定13,425㎡と合わせて約15,700㎡が史跡に指定されることとなります。

続いて、令和2年度の午王山遺跡の取組みについてご報告します。

はじめに「① 午王山遺跡保存活用計画策定事業」です。保存活用計画は、遺跡の現状の把握や史跡の本質的な価値を明確化し、それらを適切かつ確実に保存・管理していくための基本方針を定めるためのものであり、午王山遺跡の今後を見据えた重要な計画となります。こちらを、文化財保護委員会から保科委員にもご参加いただいております午王山遺跡保存活用計画策定委員会を組織して、今年度・来年度の2か年をかけ、来年度末の策定を目指して業務に当たっております。

令和2年度は、コロナ禍ということもあり、書面開催という回もございましたが、4回の委員会の開催、3回の現地視察の実施を行いました。

次に、「② 史跡指定地 用地取得事業」です。こちらは、国史跡に指定された午王山遺跡土地所有者の方との同意を図れた土地を取得する事業です。令和2年度は、宅地1件、農地2件の計1,900㎡の土地が和光市有地となりました。これにより史跡地内の和光市有地は、合計4,300㎡となっております。

続きまして、「③国史跡の追加指定に向けた文部科学大臣宛ての意見具申書の提出」についてです。国史跡に指定されるには、その土地を所有する地権者から同意書をいただく必要があります。令和2年度に、新たに2,340㎡分の土地所有者から同意をいただ

くことができました。同意をいただいた方の土地を対象として文部科学大臣宛てに意見具申書を提出し、令和2年11月に指定されることの内定の報道発表がありました。

そして、先ほど申し上げたとおり、近日中の官報の告示がなされたのち、正式に追加指定されることとなります。

○田中委員長

ただいまの報告について、ご意見、ご感想のある委員の方はいらっしゃいますか。

○鈴木副委員長

約2,300(m²)は今年に用地取得する予定ですか？

○事務局

用地取得ではなく、新たに追加指定される面積です。

○鈴木副委員長

史跡に指定されている面積を約16,000(m²)とすると4分の1だから25%ぐらい。市道も含まれているなら、市道の面積はどのくらいか。補助金は国や県からどのくらい出る予定ですか。

○事務局

市道部分の総面積は2,062(m²)です。国庫補助金は80%で、県からの補助金はありません。

○鈴木副委員長

5千万円予算化されていたと聞いていたので、これから市の負担が大きくなる。今後出来るだけ早く、公有地を増やして欲しいと思います。

○田中委員長

以上で議題①の協議を終了します。

(2) 令和2年度文化財保護事業中間報告について

○田中委員長

議題②について、事務局から報告をお願いします。

○事務局

議題②の資料や写真を基に説明。

令和2年度2月末時点で、試掘確認調査は立会を含めて18件、発掘調査は3件行い

ました。3件のうち、越之上遺跡第3次調査では、越之上遺跡では初となる柄鏡形住居跡が確認されました。また、毎年刊行しております報告書については、第68集の市場・市場上遺跡第26・27・28次、吹上原遺跡第8次調査を刊行予定です。

続いて、新倉ふるさと民家園の来園者数、デジタルミュージアムの閲覧数は資料のとおりです。

デジタルミュージアムの紀要第7号については3月末に刊行予定ですので、ぜひご覧ください。

白子熊野神社境内地の富士塚については、測量調査を業者に委託し、行いました。石造物の拓本調査は教育委員会で継続して行っています。調査が終了しましたら、またご報告いたします。

続いて、午王山遺跡の展示会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止といたしました。展示会については、補助金の関係上、次の開催は令和4年度になる見込みです。

○並木委員

越之上遺跡について。柄鏡形住居跡は珍しい遺跡なので、なにか注目してもらえるようなことはできないでしょうか。

○事務局

越之上遺跡第3次調査は、共同住宅建設に伴う発掘調査でした。計画ですと、提供公園を建設することになっていましたので、業者に提供公園に置く看板等で遺跡についての写真や説明を掲載できないかを確認しているところです。回答がありましたら、またご報告いたします。

○鈴木副委員長

業者とのやり取りをする中で、職員も経験が必要だと思います。長く勤めた職員が来年度退職されると思うが、後継者の育成が課題になってくると思います。

○事務局

令和3年度の職員採用で学芸員を募集し、採用予定です。また、有資格者の職員を要求しています。

○岩田委員

富士塚について質問です。市内にはあと何基富士塚がありますか？

○事務局

和光市には3基の富士塚があります。場所は、下新倉・白子・浅久保です。今後指定

文化財にするために文化財保護委員の皆様にご相談をしています。ただし、資料が和光市史にしかないため、改めて調査を実施しています。下新倉の富士塚については、塚が比較的小さかったため、教育委員会で測量と石造物の拓本調査が行えましたが、白子の富士塚は塚が大きいため、予算化し、測量を委託しました。

○田中委員長

以上で議題②の協議を終了します。

(3) 令和3年度の主な予定について

○田中委員長

それでは、議題③について事務局から説明をお願いします。

○事務局(桑野)

議題③の資料を基に説明。

「①午王山遺跡保存活用計画策定事業」では、保存活用計画策定委員会を3回、現地視察を1回開催いたします。

また、パブリックコメントやワークショップ方式での検討会を予定するなど、市民参加を用いながら、令和4年3月頃の刊行を予定しています。

次に「②史跡指定地 用地取得事業」では、来年度は現時点では、宅地1件、雑種地1件の計2件の用地取得を予定しています。

続いて「③国史跡の追加指定に向けた意見具申書の提出」についてですが、来年度も、まだ同意を得られていない地権者の方へのご説明をとおして、同意をいただくことのできた土地について、令和3年7月に文部科学大臣宛てに意見具申書を提出し、追加指定を目指していきます。

最後に、「④整備について」ですが、当面の間、令和2年度に取得した土地を含む史跡地内公有地4,300㎡の土地の維持・管理に努めてまいります。

加えて、今後、段階的に史跡整備が行えるよう、文化庁・埼玉県の助言を受けながら、未調査地点の遺構確認調査等をどのように実施していくかなどを検討していきます。

○田中委員長

ただいまの「午王山遺跡の主な予定について」、ご意見、ご感想のある委員の方はいらっしゃいますか。

○岩田委員

先日初めて午王山を見に行ったのですが、看板に「市の指定」と記載してありました。「国の指定」と修正をしたほうがいいのではないのでしょうか。

○事務局

先日、簡易的なものではありますが、シールで修正をいたしました。また、今年度中に新たな看板を設置する予定となっています。

○鈴木副委員長

用地の取得と遺跡の保護を改めてお願いしたいと思います。また、今後は資料として地図をつけてほしいと思います。

○事務局

予算化をして、進めてまいります。また、資料については今後そのようにいたします。

○小田部委員

直接午王山遺跡に関係があるわけではないのですが、吹上貝塚は研究している方の中で、かなり有名だそうです。同じように看板はありますか。

○事務局

吹上貝塚については、道路沿いに看板があります。

○小田部委員

その遺跡がいかに関重要かというのを単独で説明するのではなく、地形的にこういう繋がりがあって、他の遺跡とどの部分が異なるという全体の流れのような説明があるといいと思います。市民に分かりやすく記載してほしいと思います。

○事務局

今後そのようにいたします。

○田中委員長

以上で議題③の協議を終了します。

(4) その他

○田中委員長

それでは、議題④について事務局から説明をお願いします。

○事務局

議題④の資料を基に説明。

○田中委員長

和光市史平成版の報告について、ご意見、ご感想のある委員の方はいらっしゃいますか。ご意見等がないようであれば、和光市史編さん委員会に委員として出席されている鈴木副委員長から経過についてなど一言お願いします。

○鈴木副委員長

平成版ということで、前回の市史を引き継ぐ形になっています。ただし、前回と違い、誰でも読みやすいをコンセプトにしています。原稿がまだ出ていませんが、ページのレイアウトや文字の大きさ等について委員会で決定したところです。

○田中委員長

続いて、午王山遺跡保存活用計画策定委員会に委員として出席されている保科委員から経過についてなど一言お願いいたします。

○保科委員

どんな保存活用計画を策定するか模索中だが、参考になったのはやはり現地視察です。行ってみてよかったのは、水子貝塚です。まず、大きな公園があって家族連れで遊びに来ていました。遺跡の学術的な内容も大切だが、まず市民の方に来てもらえることや、かつて昔の人がこういう生活をしていたと分かってもらえることが大切だと感じました。

○田中委員長

お二方ともありがとうございました。それでは議事は以上となりますので、議長の任を解かせていただき、事務局にお返しいたします。

5 その他

○事務局

貴重なご意見ありがとうございました。

次回の文化財保護委員会の開催時期は、午王山遺跡の進捗状況にもよりますが令和3年5月頃に開催を予定したいと思います。また、コロナ渦ではありますが、令和3年6月頃に文化庁主催の「発掘された日本列島2021」の展示会が開催される予定です。午王山遺跡が内定しておりますことをご報告させていただきます。

6 閉会

○鈴木副委員長

閉会の挨拶

○事務局

それではお忙しいところご出席いただきありがとうございました。

以上を持ちまして、第2回文化財保護委員会を終了させていただきます。